

令和8年10月9日

## 文化庁は Asian Film Alliance Network (AFAN) へ加盟しました

文化庁は、本日、韓国・釜山で開催されたアジア・フィルム・アライアンス・ネットワーク (Asian Film Alliance Network : AFAN) 総会において、日本が正会員として加盟したことをお知らせします。アジア各国・地域の映画関係機関との緊密な連携は、人材交流や国際共同製作の促進、映画市場の拡大につながるとともに、多様で革新的な映像作品の創出を後押しするものです。

文化庁は、AFAN への参画を通じて、日本映画の国際競争力の強化及び海外展開を推進するとともに、アジア全体の映画文化の発展に貢献してまいります。

### (1) Asian Film Alliance Network (AFAN) について

AFAN は、アジア各国・地域の映像分野を所管する公的機関等が連携を強化し、情報交換を行うための枠組みです。2023 年のカンヌ国際映画祭において、韓国映画振興委員会 (KOFIC) の提唱により発足しました。これまでに、韓国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、フィリピン及びタイの 6 か国の映画機関が参加しています。総会は、毎年カンヌ国際映画祭と釜山国際映画祭の期間中に開催され、正会員、パートナー及びオブザーバーが地域の課題について意見を交換しています。

また、2024 年 5 月には欧州映画機関長協会 (EFAD) と連携協定を締結し、アジアと欧州との協力を推進しています。

### (2) 日本の参加体制

日本は、文化庁を代表機関とし、公益財団法人ユニジャパン及び特定非営利活動法人映像産業振興機構 (VIPO) と共に参加します。日本は 2024 年からオブザーバーとして AFAN との対話や行事に参加してきました。今年 5 月に仏・カンヌで開催された AFAN 総会にて日本の正式加盟が承認され、今回正会員として初めて参加します。



(3) 参考

AFAN プレスリリース（別紙 1：英文、別紙 2：日本語仮訳）

AFAN 公式ホームページ：<https://www.afanconnect.asia/>

本件問合せ先

文化庁参事官（芸術文化担当）付

コンテンツ振興室 相原、河北

【代表】03-5253-4111（内 2083）

## Press Release

### **Japan joins the Asian Film Alliance Network (AFAN) as the latest member**

**Oct 9, Busan, South Korea** - Japan officially joins the Asian Film Alliance Network (AFAN) as a member of this regional programme. The Asian Film Alliance Network (AFAN) is a platform for Asian national audiovisual agencies to strengthen partnerships and exchange information. Initiated by the Korean Film Council (KOFIC) at the 2023 Cannes Film Festival, it currently comprises six film agencies from South Korea, Indonesia, Malaysia, Mongolia, the Philippines, and Thailand. In May 2024, AFAN partnered with the European Film Agency Directors Association (EFAD) to further foster collaboration between Asia and Europe.

Japan's membership will be led by the Agency of Cultural Affairs – Government of Japan. Japan has participated as an observer with AFAN since 2024 and have participated in the dialogue and events since then.

#### AFAN's Statement

Lorna Tee, Secretary General of AFAN remarked "AFAN is pleased to welcome Japan as the latest member of AFAN as Japan is a major powerhouse in the audiovisual sector globally. The official participation of Japan will enhance the existing network and programmes of AFAN in bringing Asia to strengthen regional and global collaboration for the Asian industries. The Asian market and population ranks number one in the world and Asia will need to collaborate and communicate more within the region for Asian stories, talents and industries to grow for a more sustainable and vibrant future."

AFAN conducts two general assemblies annually for the members, partners and observers to meet and exchange information and discuss regional concerns - one during the Cannes Film Festival and one during the Busan International Film Festival. In addition AFAN Spotlight at various international events such as the Marche du Film, Asian Contents and Film Market (ACFM), European Film Market (EFM), ASEAN Film & TV Summit, Clermont-Ferrand Film Festival, Annecy Film Festival, Tokyo International Film Festival Content Market (TIFFCOM), Bangkok International Film Festival and JAFF Market in Indonesia further profiles AFAN members talents, companies, organisations and events to foster greater understanding within Asia and beyond. AFAN continues to strive to engage with more regional organisations in the mission for the enhancement and growth of the Asian audiovisual industries.

For more information, please contact [lorna@afanconnect.asia](mailto:lorna@afanconnect.asia) or log on to <https://www.afanconnect.asia/>

AFAN consists of



※日本語仮訳は「ガバメント AI 源内」を用いて作成し、文化庁が確認したものです。  
正文は英文（別紙 1）です。

プレスリリース（※日本語仮訳）

## **日本、アジア・フィルム・アライアンス・ネットワーク（AFAN）に最新加盟国として正式加入**

10月9日、韓国・釜山発 — 日本はこのたび、アジア地域の映画・映像産業連携を目的とした「アジア・フィルム・アライアンス・ネットワーク（AFAN）」の正式加盟国となった。AFANは、アジア各国の映像関連機関が連携を強化し、情報を交換するためのプラットフォームである。2023年のカンヌ国際映画祭において韓国映画振興委員会（KOFIC）によって設立されたこのネットワークは、現在韓国、インドネシア、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイの6か国の映画機関が加盟している。2024年5月には、AFANが欧州映画機関長協会（EFAD）と連携し、アジアと欧州のさらなる協力関係構築に向けた取り組みを開始した。

日本の加盟にあたっては、文化庁が代表機関を担う。日本は2024年よりAFANのオブザーバーとして参加しており、これまで対話や関連イベントに関与してきた。

### **AFAN の声明**

AFAN 事務局長のローナ・ティー氏は「AFAN は、世界的に映像産業の主要プレイヤーである日本を最新の加盟国として迎えられることを大変喜ばしく思います。日本の正式参加により、AFAN の既存ネットワークとプログラムがさらに強化され、アジア地域および世界規模での映画・映像産業の連携促進が期待されます。アジア市場及び人口は世界最大であり、アジアの物語や人材、産業が持続的かつ活気ある未来を築くためには、地域内のさらなる協力と連携が不可欠です」と述べた。

AFAN は年間2回、加盟機関・パートナー・オブザーバー向けの総会を開催し、情報交換や地域課題に関する議論を行っている。開催地はカンヌ国際映画祭と釜山国際映画祭である。さらに、マルシェ・デュ・フィルム、アジアコンテンツ&フィルムマーケット（ACFM）、欧州映画マーケット（EFM）、ASEAN 映画・テレビサミット、クレルモン＝フェラン国際映画祭、アヌシー国際アニメーション映画祭、東京国際映画祭コンテンツマーケット（TIFFCOM）、バンコク国際映画祭、インドネシアの JAFF マーケットなど、様々な国際イベントで「AFAN スポットライト」プログラムを実施し、AFAN 加盟機関の人材・企業・団体・イベントを広く紹介することで、アジア内外での相互理解の深化を図っている。AFAN は今後も、アジアの映像産業の発展と成長を目指し、より多くの地域組織との連携強化に努めていく。

詳細は [lorna@afanconnect.asia](mailto:lorna@afanconnect.asia) 又は <https://www.afanconnect.asia/> まで。